

第6回 久住中学校跡地活用検討委員会 会議録

■日時：令和7年3月13日（木） 19時～20時30分

場所：久住公民館

■出席者：委員 12名

アドバイザー 2名

久住支所長・事務局（財政課）

■次第

1. 開会あいさつ

2. 会長あいさつ

3. 報告

（1）「竹田市立久住中学校跡地活用事業」公募型プロポーザル結果について

4. 久住中学校跡地を活用して行う事業の説明（説明者：株式会社タカフジ）

5. 質疑応答

6. 協議

（1）(株)タカフジの事業内容について

（2）現地視察について

7. 今後のスケジュール（予定）

8. 委員改選

9. 閉会あいさつ

■内容、委員から挙げた意見・質疑

3. 報告

- (1)「竹田市立久住中学校跡地活用事業」公募型プロポーザル結果について
資料を基に結果報告を行った。

4. 久住中学校跡地を活用して行う事業の説明（説明者：株式会社タカフジ）

株式会社タカフジの担当者が、①会社概要②久住中学校跡地を活用して行う事業③施設の活用計画を説明した。

5. 質疑応答

株式会社タカフジから事業説明を受け、下記の質疑応答が行われた。

○ チップ製造時に発生する音など環境対策はどのように行うのか。

⇒ 例えば、騒音対策についてはチップターの周囲に丸太を積み上げ音を遮断することや防音シートの設置が考えられる。防音シートは破損するなどの課題があることから、同業者は丸太を積み上げて対策している。引き続き対策を検討したい。

○ 元は学校であるので、子ども達がグラウンドに入ってくることが考えられる。丸太を積み上げるとのことだったが、丸太に登るかもしれない。安全面はどういう対策を行うのか。

⇒ 事故が起きないように確認して設計を行いたい。

○ 稼働時間はどの程度か。音、ごみの対策が大変だと思う。

⇒ 3~4 時間程度を見込んでいる。チップターを使用した際に粉塵が発生する。相談しながら事業を進めたい。

○ 電力や水量はどの程度必要なのか。

⇒ 現在、設備の設計段階であるため必要な電気容量や水量等は計算できていない。使用可能な水量等を確認しながら設計したい。

○ グラウンドに 20 t トラックが進入する際に現況のままだと荒れる可能性がある。舗装は考えているか。

⇒ 朝地の中間土場では、アスファルト等で一部舗装している。同じような対策を検討している。

○ グラウンドを整備する際にタイムカプセルが出てきたら教えてほしい。

- 校舎の使用しない箇所について、提案のあった地域交流を積極的に行ってほしい。
防災拠点や地域との交流拠点施設等の提案があるが、実績はどうか。
⇒ 防災拠点の実績はある。事業を進める中で地域貢献も重要と考えていることから活用策について地元の方と相談したい。
- 工場見学や産業ツーリズムが流行っている。本事業の目玉は何か。
⇒ 枝葉のエキスを抽出する真空抽出機や炭化設備が目玉になる。
- 竹や枝葉、木質チップから製造した炭を飼料に配合して肥育した実績はどうか。
⇒ 竹パウダー、バイオ炭を混ぜて飼料として肥育牛に食べさせたところ、肉質向上や出荷速度が UP するなどの結果が得られている。
- バイオ炭、バイオ炭コークス、森の細胞水製造に係る事業スケジュールを教えてください。
⇒ 大型機の場合、設備設計に 1 年程、製作に 1 年程掛かる。よって、事業が本格稼働するのは 2〜3 年後と見込んでいる。
- 森の細胞水販売などが実現した場合、アルプス商工会への加入も考えてほしい。
⇒ もちろん考える。
- 学校跡地を活用した実績はあるか。
⇒ 実績はない。
- 買い取る枝葉の種類は何か。
⇒ 種類は問わない。ただし、森の細胞水に使用する枝葉はスギ、ヒノキに限定する。
- 枝葉を取りに来てほしいという要望があった場合は対応可能か。
⇒ 対応ができれば可能。
- 地元雇用はどのような計画か。
⇒ 事業展開後、タカフジの社員 2〜3 名を配置し、地元から 10 名程度必要と考えている。
- 事業に係る投資はどの程度か。
⇒ 14 億円程度を見込んでいる。また、特定事業を実施する法人 SPC（特別目的会社）を設立することを検討している。

6. 協議

(1) (株)タカフジの事業内容について

【協議結果】

事業説明と質疑応答を受け、久住中学校跡地を活用して取り組む事業内容について理解を得た。

(2) 現地視察について

【協議結果】

(株)タカフジの朝地中間土場を視察する。

視察は、現体制の委員で行う。

日時については、調整後委員にお知らせする。

(日程 市長・市議会議員選挙後 時間 13:30~ で調整する)

7. 今後のスケジュール

資料を基に説明を行った。第7回検討委員会は、視察時に開催する。

また、次のことを併せて説明した。

地元説明会等で地元から本事業内容に理解を得られ、(株)タカフジが活用者に決定した場合は、検討委員会を閉じ、(株)タカフジの地元相談窓口となる協議会を設立することを考えている。

－意見・質疑－

○ (株)タカフジが協議会と協議する際は、市は立ち会うのか。

⇒ 立ち会う。

8. 委員改選

4月以降、自治会長とPTA役員が交代となる。

ただし、現地視察は現体制の委員で行うことから第8回から新体制となる。

(次頁以降は当日配布した資料内容)

3. 報告

(1) 「竹田市立久住中学校跡地活用事業」公募型プロポーザル結果について

結果：優先交渉権者「株式会社タカフジ」(所在地：大分市三佐六丁目2番50号)
(審査について)

審査日：令和7年2月13日(木)

審査項目：① 提案事業のコンセプト・内容

② 提案事業の実現性・継続性

③ 事業提案者

④ 地域貢献

評価点数：494点

(評価点数が満点の60%(420点)以上であることから、優先交渉権者として決定)

4. 久住中学校跡地を活用して行う事業の説明(説明者：株式会社タカフジ)

5. 質疑応答

6. 協議

(1) (株)タカフジの事業内容について

(2) 現地視察について

7. 今後のスケジュール (予定)

時期	検討委員会	市
3 月	○ 第 6 回 検討委員会	
4 月	○ 第 7 回 検討委員会 (市長・市議会議員選挙後) (視察を行う場合、視察後)	○ 市長・市議会議員選挙 (4/13)
5 月 以降	○ 第 8 回 検討委員会 ※以降、随時開催	(第 8 回検討委員会実施後) ○ 説明会 (白丹・久住地区全体) ○ 関係者説明会 ※地元自治会・宮原水道組合・ 井路組合 など ○ 文部科学省への財産処分承認手続き ○ 埋蔵文化財試掘調査 ○ 市議会の議決

8. 委員改選

令和6年度 久住中学校跡地活用検討委員 名簿 (敬称略)

	分野	所属	役職	氏名
1	自治会 スポーツ	久住地区自治会長会 会長 久住地域スポーツ協会 会長	会長	渡邊 英治
2	自治会	白丹地区自治会長会 会長	副会長	島村 宏司
3	自治会 関係者	宮原自治会（地元自治会）会長 宮原水道組合 副組合長	副会長	佐藤 雄治
4	PTA 公募	竹田市立白丹小学校 PTA 会長		佐藤 錦也
5	PTA	竹田市立久住小学校 PTA 会長		佐藤 愛朗
6	PTA	竹田市立竹田中学校 PTA 副会長		檜木野 崇司
7	公民館	白丹公民館 館長		本郷 純司
8	公民館	久住公民館 館長		足立 達哉
9	産業	九州アルプス商工会 理事		平田 誠
10	産業	竹田市認定農業者連絡協議会 監事		植木 俊輔
11	福祉	竹田市社会福祉協議会 総務課長		小林 慶
12	観光	竹田市観光ツーリズム協会 理事		佐藤 侑司
13	まちづくり	久住さやか利活用実行委員会 会長		志賀 幸男
14	公募			佐藤 認
15	公募			丸山 泰武

(アドバイザー) 竹田市議会議員 池見 傑
竹田市議会議員 賀籠六 めぐみ

(事務局) 財政課 財産活用推進室